

2023年度通期

継続新規

科目No.	関連講座GR515e	科目名	社会技術革新事例研究5(論議の輪)					副題	内外の多様な事例を検証し需要を創出し付加価値を生み出すイノベーションの成否を決する真髄を探る			
連携機関名	社会技術革新学会	水準	中級	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	通年隔月第1水曜日 21:00-23:00	拠点 (開講機関)	リモート・横浜戸塚 (知の市場)	
科目概要(300字)	人間は多様な危機(リスク)と機会(チャンス)の中でイノベーションを成し遂げ資源の活用を進め付加価値の維持・増大を図りつつ生活水準や安全保障の向上に努めてきた。しかしながら過去30年間の成長の停滞の過程で人々の所得は増えず貿易収支は赤字に転落し経常収支も急速に悪化するなど、日本は厳しい状況に直面している。技術革新、人材改新、制度改革、社会変革が相互に影響し合うイノベーションの文理融合的な特徴を踏まえ、新たに提起されたイノベーションの階層構造やイノベーションを励起・誘導する需要の階層構造などの概念をも視野に入れながら、下に示す内容に捉われず参加者が提起する多様な論点にも論議の輪を広げつつ、持続可能な発展に不可欠な諸課題を明らかにし、イノベーションを展開するための方策を論じる。											

科目構成	No.	講義名	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取組め者	講師	所属
はじめに (これまでの復習)	1	イノベーションと付加価値の維持・増大	科目の目指すところと講義の進め方について概説する。この科目の理解の基本となる技術革新、制度改革、人材改新、社会変革そしてイノベーションといった概念を概説するとともに、生活と社会を支える付加価値の維持・増大との係わりなどについて問題提起する。また、イノベーションを励起し誘導する需要の階層構造や需要創造の重要性につき解説する。	2023/4/5	Zoomを活用してリモート開催。	増田 優	増田 優	お茶の水女子大学 名誉教授 早稲田大学 規範科学総合研究所 招聘研究員 社会技術革新学会 化学生物総合管理学会 会員
世界を変えた日本のイノベーション	2	新たな価値を創造した日本製品の実相	イノベーションは技術革新から発するとは限らない。成熟市場の中で市場占有率が劇的に変化した歴史を有する製品分野を事例として取り上げ、イノベーションにおける理念・目的の重要性を検証する。あわせて、新たな理念・目的の設定が規範の制定を惹起しつつ、新たな製品分野と市場の創造をもたらした事例などについて検証する。	2023/6/7				
	3	国際情勢を動かした日本製品の実相	1970-80年代のイスラム革命などについて概観するとともに、その過程で日本製品が果たした役割を検証しつつ、その意味・意義と成否の要因を論じる。また、国情に応じて理念・目的を変革したことが新たな規範を惹起し、その結果、その国における市場占有率が劇的に変わった製品分野などについて検証する。					
新規分野におけるイノベーションの 日米の差異	4	バイオ分野の競争力の劇的な変化の実相	21世紀に大きな影響をもたらすと想定されるバイオ(生物科学)分野で日本に大きく遅れているとの危機感から、米国はNIH(国立衛生研究所)を通して膨大な研究費を投下するとともに、並行してOECD(経済開発協力機構)などの場を通して規範づくりを推進し直ちに事業化を実現した。この過程で、日米の立場は逆転し競争力の格差が急拡大した実相を検証する。	2023/8/2				
	5	情報分野の競争力の格差拡大の実相	1970-80年代の経済的な困難の後、GAFAMなどの一国の存在を凌駕するほどの企業群の登場を促し米国の国際競争力の復活をもたらしたものは何かを検証する。また、その過程で取られた日米の政策の特徴を比較検証し、世界を先導するイノベーションを惹起する政策の要件を論じる。					
米国を激変させた政策のイノベーションの特徴と意味	6	科学政策と巨大プロジェクトの実相と意味	科学政策の成立・運営やマンハッタン計画、アポロ計画、ヒューマンゲノム計画などのビッグプロジェクトの発足・実施の経過を検証しつつ、知力・腕力・体力で欧州を凌駕し名実ともに世界を先導する国になることを目指した米国の政策の成否を決めた要因と社会的な影響の広がりについて論じる。	2023/10/4				
	7	産業政策・技術政策における日米の実相	日米の競争力の変化は、日米貿易紛争を惹起する一方で、産業競争力の源泉は何か、イノベーションとは何かといったより根源的な問いを提起し、産官学労の努力は米国に産業政策・産業技術政策をもたらした。構造改革(Restructure)や知的財産権戦略などが展開された。日本でも科学技術基本法や産業技術強化法の制定・改正が行われたが、日米の特徴と成果を検証する。	2023/12/6				
まとめ	8	総合討論	明治維新から152年、第二次世界大戦の終結から75年、経済大国と呼ばれてから34年が経過し、その間に世界も日本も大きく変化を遂げた。この歴史を形作ってきた諸々の要因を検証しながら、日本の現状と課題について自由に討論する。	2024/2/7				